

教師修練道場に入行するには

教師修練道場は、宗祖法然上人立教開宗の精神を体し、時代に即応した優秀な本宗教師の育成を目的とします。

本道場は、行学併修の教育を施し、自炊による集団生活を行います。

※道場を修了した学衆は、相当の式師叙任若しくは詠唱講司認定がされるほか、道場入行中に、僧都叙任要件の教師研修会及び少僧都叙任要件の教師研修講座、並びに教階叙任要件となる高等講習会等を受講します。

修練道場とは

本道場は伝宗伝戒を終え教師資格を取得した者が、自らの意志で入行し、お念仏を中心とした1年間の道場生活において、勤行、礼拝、別時念仏、作務を中心とした行を修めるとともに、浄土宗学、仏教学などの学問、布教、法式、詠唱などの様々な実践的科目を学びます。

道場で得られる経験は、道場修了後において教師として活動するための糧となり、共に行学を修める他の学衆との縁は生涯かけがえのないものになるでしょう。希望と信念を持つ熱意ある本宗教師が入行しています。

道場所在地

浄土宗教化研修会館（源光院）

〒605-0062 京都市東山区林下町 416

修行期間

1年間（4月から翌年3月まで）

道場生活

1. 日課（基本）

時間	日程
4:30	起床
5:00	勤行（礼拝・後夜・晨朝法要）
7:00	作務（道場内等の清掃）
8:00	小食（朝食）
9:00	講義・作務
12:00	勤行（日中法要・半斎供養式）・飯食（昼食）
13:00	講義・作務

17:00	勤行（日没・初夜法要）
18:00	薬石（夕食）
19:00	勤行（中夜法要）
20:30	自習・入浴
22:00	点呼・消灯

2. 生活規則

- ・一年間の道場での自炊による集団生活です。
- ・頭髪は剃髪です。 ・女性教師も入行可能です。
- ・自由外泊、外出等は原則できません。
- ・自坊研修期間（概ね8月の1カ月間及び年末年始2週間程度）があります。
- ・面会は許可制で、師僧・寺族について認めます。
- ・娯楽用品は持込不可です（ただし携帯電話・スマートフォンの持ち込みについては使用時間等の制限はありますが使用可能です）。
- ・自室（居室）は個室です。ただし、入行者数により相部屋となることや、時期等の理由により集団での寝起きに変更することがあります。
- ・服装は、勤行は黒衣・如法衣、講義は改良服、日常生活は作務衣です。
- ・勤行係（導師・維那）、食事係、講師係のほか作務を当番制で行います。

3. 年間行事予定

4月 入行宣誓式・入行三千礼拝（3日間で）・清凉寺御身拭式・當麻寺お練り供養

6月 元黒谷青龍寺にて不断念仏

8月 自坊研修（7月下旬～8月下旬まで）

1月 嘉禄の法難念仏行脚

3月 清凉寺涅槃会・御松明式・成満式

10月 詠唱大会・念仏行脚・霊場参拝

11月 各寺院十夜法要随喜（法話実演）

12月 清凉寺仏名会三千礼拝・歳末助け合い街頭募金活動・自坊研修（年末年始）

1月 嘉禄の法難念仏行脚

3月 清凉寺涅槃会・御松明式・成満式

受講予定の研修会（講習会）

- ・ 教師研修会
- ・ 教師研修（少僧都研修）講座
- ・ 教学高等講習会
- ・ 教化高等講習会
- ・ 実践講座 など

入行資格

本宗教師および入行までに教師資格を取得できる方。

募集人員

10名（男女問いません）

道場経費

入学冥加料 20,000円

修学冥加料 300,000円（年額） ※修学冥加料は分割納入も可能です。

入行選考

11月頃

※募集および詳細は、毎月発行の『和合』または浄土宗ネットワークをご覧ください。

お問い合わせ

教学部 浄土宗教学部

〒605-0062 京都市東山区林下町 400-8

TEL 075-525-0480 FAX 075-531-5105